

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年4月12日

2005年4月12日現在

4月10日に終わる1週間のモンタナ州の気象は、前週より気温が更に上昇し、降雨は南部を中心に見られた。NC地区での最高気温は75～83度F、NE地区では81～87度Fとなった。降雨はNC地区、NE地区及びCent.地区では殆ど無かったが、SW地区では0.15～0.58インチの降雨量となった。昨年10月1日からの積算降水量は、NC地区では平年の凡そ56～104%、NE地区で77～106%、Cent.地区では58～113%と報告された。

Topsoil 及び Subsoil の土壌水分は、前週より多少改善したが、昨年同期と比較し悪い状態であった。4月10日の土壌水分は略5年平均並であった。

モンタナ州の主たる河川の源である山岳地の4月初めの積雪量は、平年の60%であり、昨年の76%と報告された。河川の水量は平年の46～56%となっている。冬小麦の作柄は、前週の評価より改善し昨年同期より多少良い状態となった。冬小麦の約53%(昨年：35%)が休眠から覚め、41%が生育を開始した。昨年より遅い生育である。

春小麦の播種が開始されたが、限られた地区である。農作業は全州の43%の圃場にて進行している。昨年は69%の圃場にて春の作業が始まっていた。

2005年3月31日農務省の発表によれば、2005年産冬小麦の作付面積予想は、2,150,000エーカーであり、昨年の1,900,000エーカーに対し13%の増加であった。春小麦の作付面積予想は、HRSは2,600,000エーカー(昨年：3,000,000エーカー。13%減)、Durumは560,000エーカー(昨年：570,000エーカー。2%減)であった。昨年良好であった冬小麦の作付けが増加し、一方春小麦の作付けが減少する見込みである。

土壌水分：2005年4月10日現在

Topsoil

	This Month	Last Month	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	17	29	25	17
Short (%)	33	34	28	33
Adequate (%)	47	32	43	45
Surplus (%)	3	5	4	5

Subsoil

Very short (%)	40	53	28	32
Short (%)	36	30	35	37
Adequate (%)	23	16	36	30
Surplus (%)	1	1	1	1

冬小麦作柄状況：4月10日現在

Conditions	This Month	Last Month	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	2	4	7	9
Poor (%)	7	9	12	16
Fair (%)	33	45	37	40
Good (%)	47	33	40	31
Excellent (%)	11	9	4	4

小麦生育状況：4月10日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter W. Growing (%)	41	22	63	35
Spring W. Planted (%)	6	2	11	5

Source: Montana Agricultural statistics Service

当該作物と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>